INFORMATION

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00053878

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

INFORMATION

【期間：30年－31年】

統合神経生理学セミナー

日時：2018年10月31日（水）17:00 ～ 18:30　　場所：医学図書館2階　十全記念スタジオ
演者：富永真琴　先生　（生理学研究所・細胞生理研究部門）
演題：温度感受性TRPチャネルの進化
要旨：地球上の生物は、環境温を感知しながらそれに適応して生きています。その環境温を感知する分子群として温度感受性TRPチャネルが知られています。これまでに11の温度感受性TRPチャネルが明らかになっており、冷刺激から侵害性熱刺激まで幅広く感知しています。TRPV1チャネルは魚類で現れますが、TRPA1チャネルは昆虫にも存在し、昆虫TRPA1の強力な刺激物質は昆虫忌避剤として使われています。哺乳類に加えて昆虫や両生類、は虫類等のTRPV1, TRPA1の機能を紹介して、どのような生理機能に関わっているかを明らかにしていきます。また、その構造・機能協関解析から機能に関わる構造基盤に迫りたいと思います。
連絡先：金沢大学・医学系・統合神経生理学　　三枝理博（TEL:076-265-2173, E-mail: mieda@med.kanazawa-u.ac.jp）

組織細胞学セミナー

演者：中山　敬一　先生　　（九州大学生体防御医学研究所・主幹教授）
タイトル：「次世代プロテオミクスが拓く医学生物学の新地平：90年来のがんの謎を解く」
日時：2018年11月1日（木）17：00 ～ 18：30
場所：金沢大学宝町キャンパス　医学図書館2階十全スタジオ
　多くの生命現象にかかわる複数のタンパク質を、同時にかつ正確に測定することができれば、病気のメカニズム解明や新しい診断法の開発につながる事が期待されます。中山博士らは全てのタンパク質を絶対定量するため、ヒトの全リコンビナントタンパク質25,000種を試験管内で合成し、この情報を基に高速ターゲットプロテオミクスで短時間に多数のタンパク質の絶対定量を可能にする技術（in vitro proteome-assisted MRM for Protein Absolute QuanTification: iMPAQT）という方法を発明しました。さらに中山博士はこのiMPAQT法を駆使してがん代謝の全貌を解明することによって、その性質と治療標的を明らかにしています。このように最新のプロテオミクス技術やがん代謝の最前線を知るにはもってこいの機会です。皆様奮ってご参加下さい。
世話人：金沢大学医薬保健研究域医学系　組織細胞学　西山　正章（TEL 265-2150）

第39回生命工学トレーニングコース ～発生工学・基礎技術コース～ 招待講演

　金沢大学・学際科学実験センターでは、毎年、生命工学トレーニングコースを開催しており、2005年より実験動物研究施設が担当しております、発生工学・基礎技術コースを本年度も11月7日～9日まで開催いたします。2日目の11月8日には16:00より、宝町キャンパス・アイソトープ総合研究施設1階会議室にて、熊本大学生命資源研究・支援センター/動物資源開発研究施設（CARD）・資源開発分野の中潟直己先生に「生殖工学技術を駆使したマウスバンクシステムの構築」というタイトルでご講演いただきます。中潟先生は、マウスバンクを立ち上げるとともに、バンク作成に必須となる発生工学技術の開発・改良を重ね、失敗の少ない多くの方法を確立しておられ、今回のご講演では、各開発に関わるお話をしていただく予定です。皆様お誘いあわせの上、ぜひご出席いただきますようお願いいたします。

第33回 Neuroscience Seminar

テーマ：「新規創薬標的としての細胞内主要ATPase, VDP」
講演者：京都大学大学院　生命科学研究科・高次生体統御学分野　垣塚　彰 教授
日時：平成30年11月15日（木）18時30分～ 19時30分
場所：金沢大学宝町キャンパス 図書館2F 十全記念スタジオ
　このたび、京都大学大学院生命科学研究科・高次生体統御学分野教授の垣塚 彰先生をお招きしてセミナーを開催致します。垣塚先生は、神経科学の分野では遺伝性脊髄小脳変性症の原因遺伝子を発見され、ポリグルタミン病の概念を提唱された方としてご高名ですが、最近は抗肥満・抗糖尿病作用をもつERRL1遺伝子の同定など、多方面で業績をあげられています。今回、学部学生の特別講義のために金沢にお越しいただく機会に御講演をお願いいたしました。大変興味深いお話を拝聴できるものと思います。どうぞお気軽に御参加ください。
連絡先：脳老化・神経病態学（神経内科学）　　TEL 076-265-2293　　E-mail　neuroljimu@med.kanazawa-u.ac.jp

平林　淳先生セミナー

タイトル：糖鎖研究の動向と世界の潮流、新規糖鎖解析技術の医学・医療分野への応用と成功事例
開催日：平成30年11月16日（金）17：00 ～ 18：00
場所：十全スタジオ（金沢大学宝町キャンパス　医学図書館2Ｆ）
内容：糖鎖は構造が複雑で糖タンパク質や糖脂質、さらにプロテオグリカンといった様々な状態で存在する多彩な情報高分子である。これまで遺伝子やたんぱく質のみでは解決できなかった多くの発見がなされており、セントラルドグマの再興、ゲノム依存研究からの脱却が叫ばれている。その一環として、NIHが日本医療研究機構（AMED）と包括協定を締結した背景に我が国の糖鎖研究の強みが示されている。希少疾患や感染症の原因に糖鎖が見いだされる事例が急増していることは、今後の高齢社会や地球規模で起こる温暖化などの環境変化に対し、糖鎖を基軸とした対策が急務であることを印象付ける。以上の背景に鑑み本講演では以下の事項について概観し、今後の糖鎖研究と他分野、特に医学医療分野との交流（異分野連携）をどうしていくべきかを考えたい。
連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系細菌学　　TEL：076-265-2200 Fax：076-234-4230　　E-mail：yukafuji@med.kanazawa-u.ac.jp

第12回MRTプログラム・リトリート

第12回MRTプログラム・リトリートを開催。MRTプログラムとはMedical Research Trainingの頭文字をとったプログラムのことで、明日の医療を開拓する人材（研究医）を育成することをミッションとしている。このプログラムは、医学類の正式科目と並行して、希望する学生が授業の空き時間や夕方以降、休暇期間を利用して、各研究室で行われている研究・ゼミナール・論文講読会等に参加するものである。今回は第12回目のリトリートで今年度としては2回目となる。MRTプログラム参加学生・関連学生、教員スタッフ、興味のある方々に広く開放して日頃の成果や今後の抱負を語りあう会となる。
日時：2018年11月19日（月）午後18時15分開始
場所：金沢大学医学図書館2階　十全記念スタジオ
主催：MRTプログラム実行委員会、MRT担当教員

統合神経生理学セミナー

日時：2018年11月29日（水）15:00 ～ 16:30　　場所：医学図書館2階　十全記念スタジオ
演者：櫻井武　先生　（筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構）
演題：新規神経ペプチドの生理作用
要旨：神経ペプチドは、神経系において幅広い生理機能を有しており、グルタミン酸などと比較して、ゆっくりした神経伝達を行い神経機能の調節に役立っている。演者らは、新規神経ペプチドの機能に着目した研究を行ってきた。その中でオレキシンが行動を適切に遂行するための、覚醒状態の維持に重要な働きをすることなどを見出してきた。今回のセミナーでは、オレキシンと並行して機能検討を行ってきた二種の神経ペプチドの生理機能について紹介する。
連絡先：金沢大学・医学系・統合神経生理学　　三枝理博（TEL:076-265-2173, E-mail: mieda@med.kanazawa-u.ac.jp）

Immunology Seminar

戸田　聡　先生（カリフォルニア大学サンフランシスコ校／ HHMI HFSP fellow）
　合成組織形成：自己組織化により生じる多細胞構造の人工的作製
　Synthetic Tissue Formation：Programming Multicellular Self-organization
開催日時：平成30年12月7日（金）9：30 ～ 10：30
場所：e-learning room（医学類Ｄ棟3階）
連絡先：免疫学（華山）　　TEL 076-265-2727

新学術創成研究機構セミナー

日時：平成30年12月17日（月）17:00 ～ 18:00
場所：医学図書館　十全スタジオ
演者：清野　健先生　大阪大学大学院基礎工学研究科機能創成専攻 教授
演題：「心拍変動解析の基礎と応用」
連絡先：新学術創成研究機構セミナー 革新的統合バイオ研究コア 栄養・代謝ユニット　　井上　啓（076-265-2840）

革新ゲノム情報学セミナー

日時：平成30年12月26日（水）17:00 ～ 18:30
場所：医学図書館2階　十全記念スタジオ
演題：臨床エビデンスに基づく創薬標的の発見
演者：金子 周司 先生（京都大学 大学院薬学研究科 生体機能解析学分野・教授）
内容：金子先生は、リアルワールドデータの統計解析から、特定の有害事象を軽減する新しい薬効を既存薬に見出し、それをヒントにした実証実験から新しい創薬標的を提案する研究をなさっています。本セミナーではその最新の知見をご講演いただきます。
連絡先：革新ゲノム情報学　　田嶋　敦　　（内線：2715,　e-mail：atajima@med.kanazawa-u.ac.jp）

International Symposium on Chronic Disease and Glycation Biology

日本学術振興会・頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「慢性炎症と線維化をきたす生体ネットワークの解明とその制御の国際研究拠点形成」事業および金沢大学先魁プロジェクト2018「グリケーションを基軸とした老化研究の世界拠点の形成」事業推進のため、国際シンポジウムを開催する。米国ハーバード大学医学部ジョスリン糖尿病センターよりSteven E Shoelson教授、Jongsoon Lee助教授、ニューヨーク大学医学部からAnn Marie Schmidt教授、オーストラリアシドニー大学ジョージ研究所からMeg Jardine准教授を金沢大学にお招きする。テーマは、「Chronic Disease and Glycation Biology」で、慢性炎症やグリケーションについての講演となる。学類学生、大学院生、研究者・教員スタッフ、そして広く興味のある方々が対象である。
日時：2019年1月15日（火）13：00-18：00
場所：金沢大学附属病院宝ホール
主催：血管分子生物学分野　　山本靖彦　　TEL　076-265-2181

第35回石川県臨床細胞学会学術集会

日時：平成31年1月27日（土）11:00 ～ 17:00
場所：金沢大学附属病院　宝ホール
このたび第35回石川県臨床細胞学会学術集会を開催することになりました。本学会は石川県臨床細胞学会に所属する医師および細胞検査士の技術向上のため、各病院から症例を持ち寄り、検討しながらより良い診断と治療のために開催するものです。北陸地区外の専門家による特別講演を行っており、石川県における細胞・病理診断および研究のさらなる発展に貢献するものと確信いたしております。
特別講演：齋尾征直　先生　　群馬大学大学院保健学研究科　生体情報検査科学　教授
　　樋野興夫　先生　　順天堂大学 医学部（病理・腫瘍学）/国際教養学部 教授（併任）
連絡先：原田　憲一　　金沢大学医薬保健研究域医学系　人体病理学　　TEL　076-265-2195　FAX　076-234-4229

革新ゲノム情報学セミナー

日時：平成31年2月1日（金）17:00 ～ 18:30
場所：医学図書館2階　十全記念スタジオ
演題：ゲノムから子宮内膜症を再考する
演者：吉原弘祐 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞医学遺伝子制御講座 助教・新潟大学研究推進機構 研究准教授）
内容：吉原先生は、子宮内膜症の発症メカニズム解明のため、正常子宮内膜から子宮内膜症へのゲノム異常の連続性を明らかにすべく、各組織に対してゲノム解析を実施し、癌関連遺伝子変異が両組織に存在することを証明されています。本セミナーではその最新の知見をご講演いただきます。
連絡先：革新ゲノム情報学　　田嶋　敦　　TEL：265-2715　　E-mail：atajima@med.kanazawa-u.ac.jp)

第29回金沢歯科口腔外科懇話会

金沢歯科口腔外科懇話会は、平成3年に金沢大学歯科口腔外科研修会としてスタートし、毎年回を重ね今年で29回になります。この会は金沢大学附属病院歯科口腔外科に患者さんを紹介してくださった先生と同窓の先生が集まり、歯科口腔外科の臨床と研究に関する研修を行う事を目的としています。本年は、金沢大学附属病院歯科口腔外科から20題の一般演題と特別講演を予定しています。本年の特別講演は北海道大学口腔顎顔面外科学教室の鄭漢忠教授にお願いしました。「口腔がん術後患者と高齢者の咀嚼・嚥下機能障害について」とても興味深いお話が聞けます。

日　時：平成31年2月16日土曜日

場　所：金沢東急ホテル

問い合わせ：金沢大学歯科口腔外科医局　　TEL　076-265-2444

第22回日本病理学会中部支部スライドセミナー

日時：平成31年3月9日（土）10:00 ～ 17:00

場所：金沢大学附属病院　宝ホール

このたび第22回日本病理学会中部支部スライドセミナーを開催することになりました。本学会は日本病理学会中部支部に所属する病理医の技術向上のため、各病院から症例を持ち寄り、検討しながらより良い診断と治療のために開催するものです。中部地区外の専門家による特別講演を行っており、病理診断および研究のさらなる発展に貢献するものと確信いたしております。

特別講演：常山幸一　先生　　徳島大学大学院医歯薬学研究部疾患病理学分野　教授

筒井朱美　先生　　香川県立中央病院　肝臓内科　部長

伊倉義弘　先生　　社会医療法人愛仁会高槻病院　病理診断科　主任部長

連絡先：原田　憲一　　金沢大学医薬保健研究域医学系　人体病理学　　TEL　076-265-2195　FAX 076-234-4229

第1回北陸分子病理研究会

世話人：金沢大学分医薬保健研究域医学系分子細胞病理学　大井章史

日時：平成31年3月17日（日）15：00 ～ 17：00

場所：金沢日航ホテル

講演者：井村穣二教授（富山大学病理診断学講座）

小林基弘教授（福井大学腫瘍病理学講座）

山田壮亮教授（金沢医科大学臨床病理学講座）

地理的にも、人的にも関係の深い北陸3県の病理医が互いに情報を交換し、将来、高度の診断技術の共有や、協力した学生新人教育目指したいと考え企画しました。

連絡先：金沢大学医学系分子細胞病理学（第一病理）

TEL：265-2192　　e-mail　tokuda@med.kanazawa-u.ac.jp

第30回日本医学会総会 2019中部
医学と医療の深化と広がり～健康長寿社会の実現をめざして～

◆分科会応援早割　締切迫る！！(事前参加登録)◆（対象：医師・歯科医師・研究者)：2018年10月31日（水）正午まで

会頭：齋藤　英彦（名古屋大学名誉教授）

顧問：中村　裕之（金沢大学医薬保健学域・研究域長）

テーマ：医学と医療の深化と広がり　～健康長寿社会の実現をめざして～

会期・会場：学術集会2019年4月27日（土）～ 4月29日（月・祝）／名古屋国際会議場、名古屋学院大学白鳥学舎、ウインクあいち

学術展示2019年4月26日（金）～ 4月29日（月・祝）／名古屋国際会議場、ポートメッセなごや

市民展示2019年3月30日（土）～ 4月7日（日）／ポートメッセなごや

医学史展2019年3月 2日（土）～ 4月28日（日）／名古屋大学博物館

公式WEB：http://isoukai2019.jp/

連絡先：学術準備室（株式会社コングレ）　　TEL：052-744-2037　FAX：052-744-2038　E-mail：isoukai2019@congre.co.jp

【開催告知】

平成31年　金沢大学十全医学会総会・学術集会

開催日：平成31年6月27日（木）

場　所：金沢大学十全講堂

§ 総会　12：40－13：00

Ⅰ．会長挨拶
Ⅱ．庶務報告　　平成30-31年　事業計画および報告
Ⅲ．会計報告　　1．平成30年 決算報告　　2．平成31年 予算計画
Ⅳ．編集報告

§ 平成30年度（第15回）金沢大学十全医学賞受賞記念講演　13：00－13：35

受賞講演「ウイルスによる頭頸発がん・転移機構の解明」
金沢大学医薬保健研究域医学系　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　講師　近藤　悟　先生

§ 学術集会『細胞の品質管理』　13：45－17：45

講演1．京都大学大学院理学研究科　生物物理学　教授　森　和俊　先生

講演2．東京大学大学院医学系研究科　分子生物学　教授　水島　昇　先生

講演3．金沢大学ナノ生命科学研究所　教授　Richard Wong 先生

講演4．Imperial College London／金沢大学ナノ生命科学研究所　教授　Yuri Korchev 先生

【問合せ】金沢大学十全医学会
TEL 076-265-2131
E-mail:kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学
十全医学賞

【平成31年度（第16回）金沢大学十全医学賞】
（応　募　規　程）

名　　称　本賞を『金沢大学十全医学賞』と称する。

目　　的　本賞は医学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し，なお将来の発展を期待しうる優れた若手研究者に対し，賞を与え顕彰することを目的とする。

選考対象
1. 会員歴 5 年以上の中より選考する。（応募時に会員は会費を完納している事）
2. 応募締切日時点で 45 歳未満とし，教授およびそれに相当する職位の者は除く。

応募締切　平成 31 年 8 月 1 日（木）必着

応募書類
1. 応募申込書と関連研究の別冊 5 編（オリジナル 1 部，そのコピー 9 部）（author として名前が入っている過去 5 年間）の論文を事務局宛に提出する。提出書類は返却しない。なお，応募申込用紙は HP からダウンロードするか，様式（記載内容）が同じであれば応募者が作成したものを提出してよい。
2. 関連研究業績について
   1) 過去 5 年間で申請者が発表した論文，著書のうち，本研究に関する重要な論文名を 10 件選定する。なお，論文は掲載が決定しているものに限る。
   2) 記載は現在から順に発表年次を過去にさかのぼって，通し番号を付ける。
   3) 記載する発表論文については，著者名，論文名，掲載誌名，掲載誌のインパクトファクター，巻（号），ページ，掲載年（西暦）を記載する。（添付した別冊の番号に○印をつける）
   4) 著者名が多数にわたる場合は，主な著者名を 3 名程度記入（申請者にはアンダーラインを付す）し，以下を省略する。省略した場合は，申請者が掲載されている順番及び員数名を記入する。
      例）申請者名 1, ○○○, ……　　他 7 名
      ○○○, 申請者名 2, ○○○, ……　　他 9 名
3. 研究の概要を 2000 字以内にまとめて記載する。

選考方法
1. 会長は会長の委任による選考委員会を設置し，選考委員会の議を経て授賞者を決定する。
2. 選考委員会が応募論文を審査の上，優れた研究者を選出する。

表彰および発表
1. 楯，および副賞 **20 万円** を授与する。
2. 当該年度十全医学会雑誌 3 号に受賞論文に関する総説を掲載する。
3. 受賞講演を行う。

※受賞後であっても虚偽の事実や本要項違反行為が発覚した場合は，受賞を取り消し，賞金の返還を求める場合があります。

申請・提出先

金沢大学十全医学会（十全医学賞申請）
〒920-8640　金沢市宝町 13-1
TEL：076-265-2131　FAX：076-234-4208
E-mail：kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp
http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学
十全医学会雑誌

JOURNAL OF THE JUZEN MEDICAL SOCIETY

VOL. 127, ２０１８

（通　刊　８６０～８６２号）

金 沢 大 学 十 全 医 学 会
The Juzen Medical Society
Kanazawa University

127 巻 内 容

2018

〔巻頭言〕

河 﨑 洋 志：金沢5年 …… 1
谷 口 巧：備えあれば憂いなし …… 35
中 田 光 俊：死から学ぶこと …… 83

〔原 著〕

岡 本 駿 郎：脂肪組織由来再生細胞 (adipose derived regenerative cells) を封入した人工神経は末梢神経再生を促進する …… 2
Midori Yuki：Effects of carvedilol pretreatment on mortality and inflammatory responses to septic shock induced by cecal ligation and puncture in rats …… 10
黒 田 梨 絵：ホスト由来インターロイキン-17Aによる急性移植片対宿主病の制御 …… 84

〔総 説〕

杉 本 直 俊：メチルキサンチン誘導体と健康 －“賢さ”を求めて－ …… 16
東 出 朋 巳：緑内障による失明を阻止するために －我々の基礎的アプローチ－ …… 21
山 本 憲 男：骨粗鬆症の現状と今後の対策 …… 36
近 藤 悟：ウイルスによる頭頸部癌発癌・転移機構の解明 …… 93
嶋 田 努：安心・安全な薬物療法を実施するために－薬物動態学的な観点から－ …… 98
池 田 博 子：がんゲノム医療と病理検査 …… 103

〔研究紹介〕

村 山 敏 典：臨床医学発展のための研究開発を目指して …… 26
西 山 正 章：クロマチンリモデリング因子CHD8のハプロ不全は自閉スペクトラム症の原因となる …… 41
安 藤 仁：末梢体内時計障害の病態解明と治療法の開発 …… 108
大 黒 多希子：遺伝子改変マウスを用いた子宮疾患の解析 …… 110

〔博士課程優秀論文〕

材 木 義 隆：再生不良性貧血の自己抗原提示に関与するHLAクラスⅠアレルの同定 …… 43
村 中 勇 人：リピドミクス・プロファイリングによるがん抑制遺伝子産物pRbの脂質代謝制御における役割の探索 …… 47
下 島 正 也：エメリンが核膜陥入層及び，核内カルシウム動態に重要な役割を果たす …… 49

〔修士課程優秀論文〕

髙 橋 徹：QRFPニューロン特異的Cre発現マウスの作製と光遺伝学的解析 …… 51
浅 野 雄 哉，石 丸 和 宏，多久和 陽：マクロファージにおけるスフィンゴシン1リン酸2型受容体 ($S1P_2$) は肺線維症を増悪させる …… 53

〔学会開催報告〕

堀 家 慎 一，柴 和 弘：第7回学際科学実験センターシンポジウム …… 28
赤 木 紀 之：平成30年度 関東研究医養成コンソーシアム 第9回 夏のリトリート …… 55
駒 井 清 暢：第5回筋ジストロフィー医療研究会 …… 112

CONTENTS OF VOLUME 127, 2018

Hiroshi Kawasaki : Five years in Kanazawa ····· 1
Takumi Taniguchi : There is no grief if it is prepared ····· 35
Mitsutoshii Nakada : Learning from patient's death ····· 83

〔**Originals**〕
Syunro Okamoto : Artificial nerve graft using adipose-derived regenerative cells promotes peripheral nerve regeneration ····· 2
Midori Yuki : Effects of carvedilol pretreatment on mortality and inflammatory responses to septic shock induced by cecal ligation and puncture in rats ····· 10
Rie Kuroda : Protection from acute graft-versus-host disease by host-derived interleukin -17A ····· 84

〔**Reviews**〕
Naotoshi Sugimoto : Methylxanthine Derivative and Cognitive Function ····· 16
Tomomi Higashide : Prevention of blindness from glaucoma - our approach through basic research - ····· 21
Toshinori Murayama : Toward the research and development for clinical innovation ····· 26
Shinichi Horike, Kazuhiro Shiba : The 7th Annual Symposium of the Advanced Science Research Center ····· 28
Norio Yamamoto : Current status and future measures for osteoporosis ····· 36
Masaaki Nishiyama : CHD8 haploinsufficiency results in autistic-like phenotypes in mice ····· 41
Yoshitaka Zaimoku : Identification of an HLA class I allele closely involved in the auto-antigen presentation in acquired aplastic anemia ····· 43
Hayato Muranaka : A distinct function of the retinoblastoma protein in the control of lipid composition identified by lipidomic profiling ····· 47
Masaya Shimojima : Emerin plays a crucial role in nuclear invagination and in the nuclear calcium transient. ····· 49
Tohru Takahashi : Generation and optogenetic characterization of mice in which QRFP-containing neurons selectively express Cre recombinase ····· 51
Yuya Asano, Kazuhiro Ishimaru, Yoh Takuwa : Exacerbation of pulmonary fibrosis in mice with macrophage–specific deletion of sphingosine-1-phosphate receptor 2 ····· 53
Tadayuki Akagi : 2018 MD Scientist Training Consortium of Kanto, The 9th Summer Retreat ····· 55
Satoru Kondo : Analysis of cancer initiation and metastasis of viral carcinogenesis of head and neck cancer. ····· 93
Tsutomu Shimada : Management for effective and safety pharmacotherapy –From the view of pharmacokinetics– ····· 98
Hiroko Ikeda : Cancer genomic medicine and pathological examination ····· 103
Hitoshi Ando : Elucidation of pathophysiology and treatment strategies of peripheral clock disruption ····· 108
Takiko Daikoku : Unravel molecular mechanism of the cause of uterine disease -insight from mouse model- ····· 110
Kiyonobu Komai : The 5th Annual Meeting of Japanese Society of Clinical Myology ····· 112

CONTENTS

Mitsutoshii Nakada : Learning from patient's death …… 83

〔**Originals**〕

Rie Kuroda : Protection from acute graft-versus-host disease by host-derived interleukin -17A …… 84

〔**Reviews**〕

Satoru Kondo : Analysis of cancer initiation and metastasis of viral carcinogenesis of head and neck cancer. …… 93

Tsutomu Shimada : Management for effective and safety pharmacotherapy –From the view of pharmacokinetics– …… 98

Hiroko Ikeda : Cancer genomic medicine and pathological examination …… 103

Hitoshi Ando : Elucidation of pathophysiology and treatment strategies of peripheral clock disruption …… 108

Takiko Daikoku : Unravel molecular mechanism of the cause of uterine disease -insight from mouse model- …… 110

Kiyonobu Komai : The 5th Annual Meeting of Japanese Society of Clinical Myology…… 112

複写をご希望の方へ

金沢大学十全医学会は，本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は，(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し，企業等法人による社内利用目的の複写については，当該企業等法人が社団法人日本複写センター((社)学術著作権協会が社内利用用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては，その必要はございません(社外頒布目的の複写については，許諾が必要です)。

権利委託先　一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052　東京都港区赤坂9-6-41　乃木坂ビル3Ｆ
FAX：03-3475-5619　E-mail：info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作権の引用，転載，翻訳等）に関しては，（社）学術著作権協会に委託致しておりません。直接，金沢大学十全医学会へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先　金沢大学十全医学会
TEL：076-265-2131　FAX：076-234-4208
E-mail：kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学十全医学会編集委員

土屋弘行(委員長)，赤木紀之，市村　宏，絹谷清剛，
髙橋智聡，中田光俊，吉村健一

平成30年11月発行
（日本出版協会会員番号 B111010）

編集者・発行者　土屋弘行
発行所　金沢大学十全医学会
〒920-8640
石川県金沢市宝町13－1
TEL:(076)265-2131 FAX:(076)234-4208

印刷　活文堂　石川県金沢市鳴和1丁目17－6